

新潟県のコンテンツ連動型の広告表示サービス 補足

事業概要

- ・新潟県が自治体で初めて2009年に導入。平成24年1月時点で、毎月の広告表示回数15～20万回、Googleからの支払いは毎月約2万円程度。
 - ・4か月以上の長期掲出を申し込んだ場合には、掲出料の割引が受けられる。
- 下の図のように、各ページの一番下に表示される。システム上、本文の途中には入れられないとのこと。



現在の運用状況

- ・広告表示回数のデータは不明だが、平成28年度は年間で約3万円程度の歳入。
- ・平成19年にGoogle AdSenseを導入したが、その後平成20年にバナー広告を導入。現在の運用としては、トップページはバナー広告のみで、その他のページでGoogle AdSenseによる広告表示がされている。ただし、全てのページではない。
- ・バナー広告は広告枠(10枠)を年間440万円で広告代理店に売却している。(広告枠が埋まるか埋まらないかは関係なく440万円の収入。H29.8.3時点で、広告表示は6枠。)

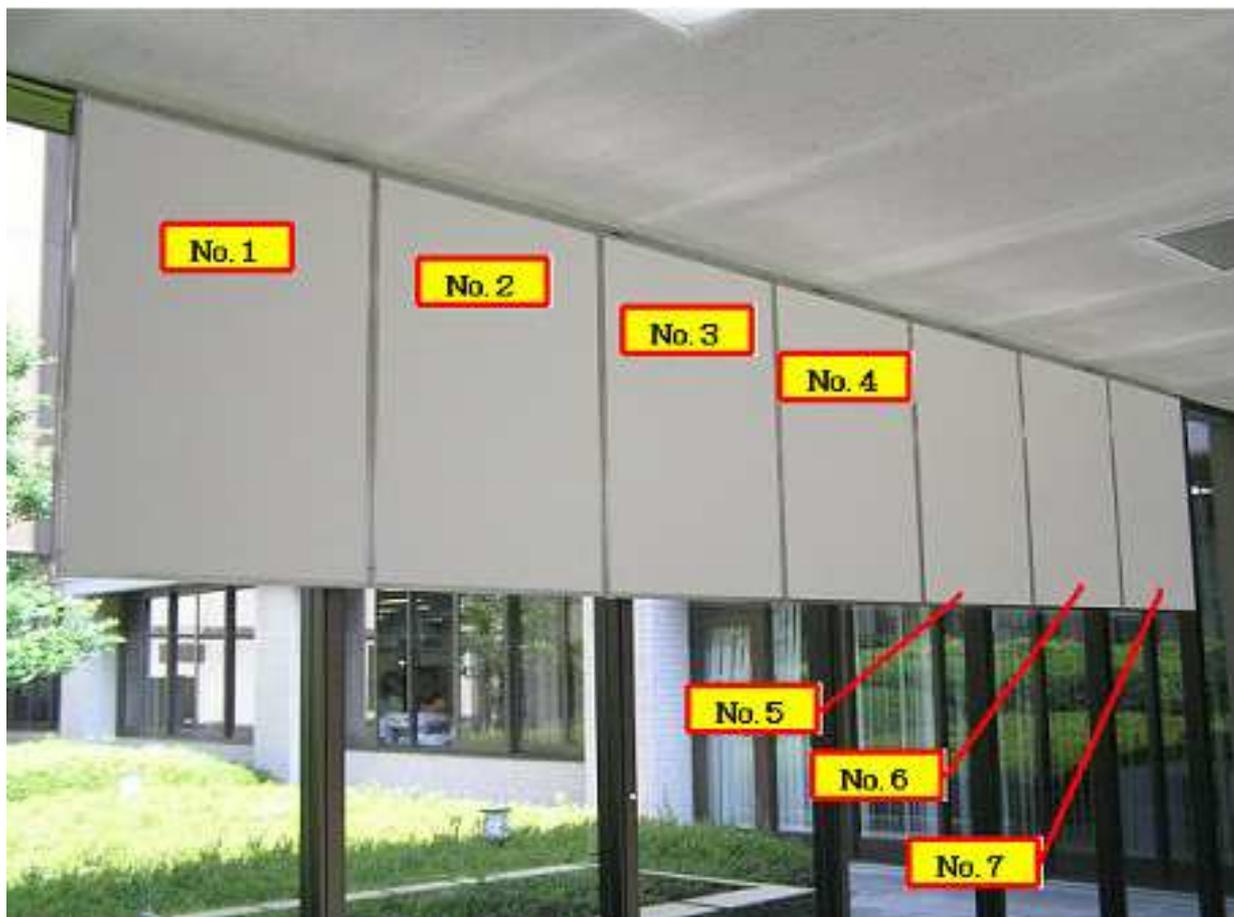
課題

歳入の金額としては、当初の年間約24万円から約3万円に減少しているが、よりクリックがされやすい表示の工夫ができれば、増える見込みはある。ただし、システム上、配置場所を変えることができない状況である。

奈良市の庁舎の壁面広告 補足

事業概要

- ・庁舎壁面に、**写真のように**広告掲載スペースを設けて広告を掲出。
- ・広告掲載料 1 枠 月額 2 万円
- ・4 か月以上の長期掲出を申し込んだ場合には、掲出料の割引が受けられる。



稼働状況

広告枠は全部で 7 面

【平成 28 年度】

4 月～ 3 月 3 面

【平成 29 年度】

4 月～ 6 月 3 面、7 月以降 4 面（予定）

課題

なかなか広告主が集まらない。広告代理店を入れる検討をしたが、市に支払われる金額が広告 3 面分ほどと想定されたため、市の直営での運用としている。

渋谷区公衆トイレネーミングライツ 補足

事業概要

渋谷区内の道路上設置の14箇所の公衆トイレのネーミングライツ

契約金額は年間10万円以上

契約期間最低3年

(他にも区内125公園に70箇所トイレ有。)

なお、契約金額は区の一般会計に組み込まれる。

実施例

神宮前1丁目スシニンジャトイレ(神宮前1丁目)

インバウンド効果を狙い近隣商店街で関連グッズ販売も見込む。

(株)ジェンコ(アニメーション等の企画会社)

契約料 年間300万円(3年間)

恵比寿 KANSEI トイレ(恵比寿駅西口)

自社技術を駆使して清掃・維持管理まで取り組む。

管清工業(株)(下水道やビルの配管工事会社)

契約料 年間135万円(3年間)

装飾・内装に590万円実施。そのほか3年間で清掃費28万円、点検費211万円を見込む。



左 スシニンジャトイレ



右 恵比寿 KANSEI トイレ

区役所前トイレ診断士の廁堂(区役所前トイレ)

(株)アメニティ(トイレの維持管理を行う会社)

契約料 年間10万円

その他初期投資に約254万円。月々の維持管理費4万2000円。自社製品の消臭剤、自動水栓、自動手指乾燥機、便座除菌クリーナー設置。契約更新時にはLED照明付け替え、ガラスコーティング実施。

鯖江市のクラウドファンディング 補足

経過

『まちで一番身近なクラウドファンディングサイト』として気軽に利用してもらうことにより、市民の夢が実現し、鯖江市が活性化することを目的とし、FAAVO さばえを運営している。

当初は、市の事業及び市民・民間の事業を掲載していたが、ふるさと納税による寄附金と異なり、寄附金控除が受けられない仕組み（購入型のクラウドファンディング）であったため、現在では市の事業は掲載しておらず、民間企業、市民の企画提案のみ掲載している。

クラウドファンディングの種類

大きく分けて次の3つの種類がある。

「寄附型」：リターンを求めない。（支援者への見返りはない）

例）JustGiving（ジャストギビング）など

「購入型」：金銭以外のリターンがある（支援額に応じて開発製品などが得られる）

例）FAAVO（ファーボ）など

「投資型」：金銭的リターンがある（事業が成功すると金銭が得られる）

（日本ではほとんど行われていない）

「寄附型」の場合は、地方公共団体に対するものであれば寄附金控除の対象となる。

「購入型」の場合は、地方公共団体に対するものであっても寄附金控除の対象とならない。

経費等

FAAVO 地域版のサイトを運営するためには、システムを構築した会社に月々5万円以上の支払いが生じるほか、職員はサイトに掲載する企画を練り上げるなど事務も生じる。

鯖江市では課長以下7名でこの業務を分担して行っている。なお、FAAVO さばえの運営によって、市に入る歳入はない。

鎌倉市のクラウドファンディング 補足

導入経緯

庁内で歳入確保策を検討し、クラウドファンディングに注目。導入手法等を検討していく中で、鎌倉の観光事業にクラウドファンディングを導入し、市民だけでなく観光客も含めて寄付をいただき鎌倉を応援していただくこととした。

したがって、鎌倉市としては観光事業にのみ導入をしている。**観光事業に特化**

対象事業

予算規模や、事業のわかりやすさの観点から、案内板を対象にしている。

これまで平成25年度に「かまくら想いプロジェクト」第1弾～第3弾、平成28年度からは「知られざる鎌倉」発掘プロジェクトとし第4弾目を実施。平成29年度も実施予定。

第1弾目標額100万円 寄附額99万円

第2弾目標額100万円 寄附額67万円

第3弾目標額100万円 寄附額29万円

第4弾目標額 50万円 寄附額47万1千円

実施手法・経費

クラウドファンディングサイトを運営しているジャストギビングジャパンと契約し、委託料を支払っている。サイトでの広報、収納代行等含む。(寄附額の5%。100万円であれば5万円。)

鎌倉市では、同事業の歳出予算を事業費の満額、また歳入予算で事業費相当の寄附額を満額措置している。寄附額が目標額に満たなくても、事業は必ず実行することになる。(寄附額の分、市の歳出が軽減される。)

受託者の希望により、地方自治法施行令第164条第4号による繰替払としているため、寄附額から委託料が差し引かれて鎌倉市に支払われるが、歳入、歳出上は、寄附額全額を歳入として扱い、歳出予算から委託料を支出したとする事務手続きを行う。

体制

基本は観光商工課の職員1名で対応(他の職員も補佐)。クラウドファンディング専属の職員ではなく、様々な観光業務の一つとして受け持っている。

課題等

導入時は、法的な課題をどうクリアするか苦労があったと思われるが、現状は、サイト運営会社と契約し委託料支払うとあとは寄附額が支払われるのを待つだけであり、複雑な事務というわけではない。